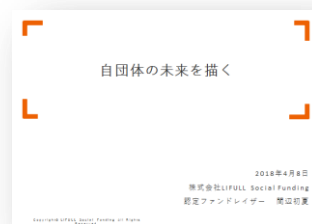


実施報告書

一般財団法人くまもと未来創造基金

事業名	オルビスくまもと未来基金 組織基盤強化セミナー「自団体の未来を描く」		
開催日時	2018年4月8日(日) 13:30~17:00		
会場	熊本市男女共同参画センター はあもにい 第3会議室		
目的	<p>1. オルビスくまもと未来基金採択団体の基盤強化セミナー</p> <p>オルビスくまもと未来基金採択団体の運営基盤を強化する研修会・個別相談会・交流会や報告会の開催により、活動の計画性や持続性、資金調達力を高めることで、持続的被災者支援活動が行われることを目的とする。</p> <p>第1回セミナー【団体としての目標】</p> <p>① 団体の3年後の姿を描く</p> <p>② 組織の基盤強化のための改善の把握</p> <p>③ 組織の課題整理・優先課題把握</p> <p>【成果】</p> <p>・団体の3年後の姿を描く。自団体の課題や現状を把握</p>		
対象	オルビスくまもと未来基金採択団体 6団体		
参加費	無料		
参加者実数	11名	予定人数	15名(各団体から2名以上)
スタッフ	一般財団法人くまもと未来創造基金 宮原・本多		
内容(流れ)	1 開会挨拶	宮原	
	2 セミナー・ワークショップ	<p>【講師】株式会社LIFULL Social Funding ファンドレイズ事業部(JAPANGIVING) コンサルティング部 コンサルタント 間辺 初夏氏</p> <p>1. 基盤強化に向けたセミナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビジョン・ミッションを明確化 ・自団体の課題や現状を把握 ・団体の中期的な(3~5年後)姿を描く ・組織の基盤強化のための改善点を把握 ・組織の潜在力の棚卸 課題の整理・今後のスケジュール 	
	3 相談会	各団体ごとの相談 活動の進捗状況・相談を行う	
	4 閉会		
* 託児	* 採択団体からの要望もあり、セミナーでは託児を行い、1名(2歳)のお子さんの利用。(今後も状況を見て検討)		



参加者名簿(11名 2名欠席)

1	中村 絵里加	ハロウィンマルシェ実行委員会
2	香山 佳奈	ハロウィンマルシェ実行委員会
3	松野 愛	熊本転入ママの会
4	東山 恵子	熊本転入ママの会
5	藤村 藍香	熊本大学災害ボランティアサンフラワー
6	上原 千明	熊本大学災害ボランティアサンフラワー
7	中村 あゆみ	よかあんぱいJAPAN
8	園木 ひとみ	よかあんぱいJAPAN
9	山之口 美穂	よかあんぱいJAPAN
10	穴井智子	ハンズハンズ
11	塚本 薫	ママハタラクプロジェクト

団体の3年後の姿・抱える課題・優先すべき課題

団体名	3年後の姿	団体の課題(太字は優先課題)
ママハタラクプロジェクト	働きたいママと人材不足企業を幸せにマッチングすることで 中小企業の人材不足解消・女性の強みを生かした働き方を実現	団体内のビジョンの共有 会議の事前スケジュールリング
ハロウィンマルシェ実行委員会	実行委員会のレベルアップ(10人体制くらい)他とのコラボができ、自己資金で運営できる体制になっている	安定した資金確保 実行委員・ボランティアの増員
よかあんぱいJAPAN	長期休みの子どもたち預かり、生活体験・学習体験の場提供 地域と連携し、親子味噌づくり体験が恒例となり、手作り味噌を家庭でも作る人たちが増える。	安定した財源 人材補充 連携事業の整理・システム化・ 広報強化
熊本転入ママの会	活動の安定化(寄付などの収入源)ネット上の情報発信充実。熊本の良さを全国に発信、転入したい町・永住したい町NO1にする。	自主財源の確保 会員増 システム化 広報ツール充実
ハンズハンズ	継続的活動ができるようにする。子どもやお年寄りが毎日利用できる場所作り 自主財源・お年寄りの収入を実現	組織体制の強化 人材確保 収入源の多様化 広報充実
熊本大学災害ボランティアサンフラワー	ビジョンの明確化や役割分担など組織体制が整い、他の学生団体等と連携し、継続した活動ができています。	新入部員の確保 組織基盤 計画—実行性 学生活動報告会

セミナー成果	<ul style="list-style-type: none"> 各団体の組織運営・ビジョン・課題等整理され、優先すべき課題の明確化、今後のスケジュールリングができた。今後団体内メンバーで共有をしていただき、団体訪問で確認・コンサルを行う。 他団体との交流による比較、相談会は細やかな相談ができたことは好評であった。
改善	<ul style="list-style-type: none"> 担当者と講師間で、セミナーの進め方の事前打ち合わせをもっと十分行う。 セミナーで作成した資料を整理し、5月中に団体訪問を行い、進捗状況の把握や個別相談を行う。次回開催は各団体と相談の上、6月2日(土)午後開催

「2018年オルビスくまもと未来基金」団体基盤強化研修 第1回アンケート						
団体名	ママハタラクプロジェクト	ハロウィンマルシェ実行委員会	よかあんぱいJAPAN	熊本転入ママの会くまてん	ハンズハンズ	熊本大学災害ボランティアサンフラワー
満足度	5	4	4	4	4	4
感想	皆さんのプロジェクトの内容が少し見えたことが良かった。 ・ビジョンを明確にする内容でわかりやすかった ・具体的な内容で進めるにあたり行動計画をなした	参加型研修でとても楽しく研修を受けることができた。普段忙しく、自分たちの団体についてゆっくりと時間を使って考えるという機会があまりなかったため、とても有意義な時間となった。授与式の際、オルビスさんに挨拶に伺ったことを、褒めて頂き、私たちの中では特別意識をしていなかったため、そういった面を評価して頂けたこと、大変嬉しくおもしろい、改めて、周りへの感謝の気持ちを相手に伝えていくことは大事なんだと気づくことができた。	三名で参加させて頂きましたメンバーとの団体としての想い方向性が一致していたのでよかったです。	他の団体の方と話せたのは良かったです。色々なことを考え、工夫されているんだなと思った。	助成金をいただいているということの再認識	同じ助成を受ける他団体との交流をする中で、団体の特色(強み弱み、機会等)やこの助成を受けて何がしたいのか等、弊団体ではあまりできていない"俯瞰的に自団体を見ること"や、"問題に団体全体で積極的に向かっていくこと"の大切さを実感できた。また、ファンドレイジングの第一歩として自団体について見直すという方法を学ぶことができたため、団体の役員を中心に団体内の状況等を話し合う際にぜひ利用していきたいと思う。ファンドレイジングの具体的方法についても、回を重ねるごとに学んでいけたら、と思う。
希望			平日開催希望	日曜日は参加できるメンバーに限られるので、平日の開催を希望。	任意団体が法人になり 活動の盛んなケースの事例など	
優先すべき課題	・プロジェクトメンバーの多忙、ビジョンの共有 ・計画のスケジュールリングが甘い	安定した資金減の確保・実行委員・ボランティアの増員	ホームページ チラシの作成 春休みに開催した活動のまとめ	マニュアル化、広報の強化による新規メンバーの加入促進。 新規加入者であってもすぐに活動できるようにマニュアル作り イベント開催、運営について、関係者について	任意団体が法人になり 活動の盛んなケースの事例など	弊団体は学生による団体ということで卒業して退部する者も毎年必ずいるため、まずは新入部員の人員確保が最優先事項であると考えられる。現在、ピア配りや説明会の実施、新歓BBQや新歓ボランティアを行うことで、新入部員確保へ
そのための今後のスケジュール	会議の事前スケジュールリング	・身近な信頼のできる知人への呼びかけ ・ボランティア団体への人員募集の呼びかけ	5月中にはチラシの完成 4月中に 春休みのまとめ	マニュアル化が得意そうなメンバーと打ち合わせ4/18 ホームページの担当について話し合い Facebookの有効活用	組織づくり 代表のみがうごいてることから仲間をつくり、仲間の意識向上と協力体制を強化	4月:新入生勧誘 5月~6月:第1回報告会 7月~8月:勉強会(全3回。ファンリテーション、広報、子ども向けの方法を学ぶ。) 11~12月:他団体との合同イベント
相談内容・結果		これまでは協賛金を募ることに對してや人員の呼びかけをする前の段階で躊躇があったので、壁を取り払って積極的に資金・人員の確保に取り組んでいく		初めての助成金、初めてのイベントのため、予定が大幅に変わって来ています。相談して良かったです。	現在 子どもの居場所づくり、地域の方々との居場所づくりは全国でも意識が高まっているところなので、子ども食堂を初めて1年を迎えるにあたり...ということで早急に今後の活動を協議する予定。	定期的に打ち合わせに来ていただいております。些細なことでも相談しやすい状況となっているため、今回は特に相談する内容がなかった。

セミナーの様子

1. 開会挨拶

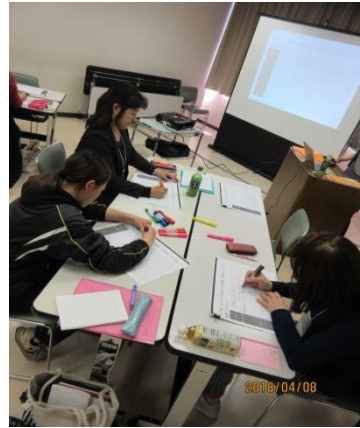


講師: 株式会社LIFULL Social Funding
ファンドレイズ事業部(JAPANGIVING)
コンサルタント 間辺 初夏氏

1. 基盤強化に向けたセミナー

- ・ビジョン・ミッションを明確化
- ・自団体の課題や現状を把握
- ・団体の中期的な(3~5年後)姿を描く
- ・組織の基盤強化のための改善点把握
- ・組織の潜在力の棚卸 課題の整理
- ・今後のスケジュール

2. セミナー & ワークショップ



ワークシート
記入後は、他の
団体参加者と互いに聞き
あった。

4. 相談会



3年後の自団体の姿について発表。



5. 閉会、

課題毎に、どの参加者も真剣に取り組み、他の団体の発表を聞きあったり、有益な時間となった。最後は団体ごとに、振り返り・共有を行った。